I·O DATA

取 扱 説 明 書

M-DISCアーカイブドライブ
BRD-UT16RPX

M-MANU201643-01

各部の名前と機能

トレイ

緊急イジェクトホール
トレイが開かなくなった場合に使用します（針金などを挿します）。

Powerランプ
電源オン時、以下のように点灯します。

アクセスランプ
アクセス時：点滅

イジェクトボタン
押すとトレイが開閉します。

	メディア入	メディア無
USB 3.0接続時	青色	薄青色
USB 2.0接続時	黄緑色	薄黄緑色
未接続時	青色※	薄青色

※ メディアが入っていてもPowerランプが薄青色のままになる場合があります。

▼背面

USBコネクター
添付のUSB ケーブルを接続します。

電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

電源スイッチ
電源を下のように切り替えます。

ON AUTO OFF

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して、本製品の電源が入/切されます。
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

縦置きする場合

Powerランプが上になるように立ててください。
※ 縦置きした場合、8cmメディアは使用できません。

(キリトリ線)

ハードウェア保証書

型 番	BRD-UT16RPX
保証期間	ご購入日より 3 年間有効です

販売店	ご購入日 住所・店名 TEL.（　　）　－

☆お客様

ふりがな	
お名前	様
TEL.（　　）　－	
〒□□□-□□□□ ご住所	

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（裏面修理センター宛）にご依頼ください。

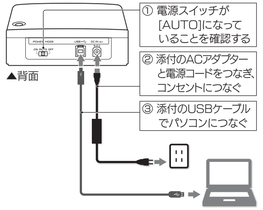
裏面の「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に相書で明確にご記入ください。

記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店様は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

I·O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

つなぎ方

1



2 [PC]または[コンピューター]を開き、アイコンの追加を確認する

※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、[はい]または[続行]をクリックしてください。

例 Windows 10、メディア未挿入、Dドライブの場合



※ ドライブ文字（番号）は環境により異なります。
※ ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。
- ケーブルの接続が正しくおこなわれていることをご確認ください（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください）。
  また、別のUSBポートに挿し直してください。
- 接続先のパソコンをAC電源に接続してください。
- USBハブや延長ケーブルをお使いの場合は取り外し、パソコンのUSBポートに添付のUSBケーブルで直接つないでください。
- 他のUSB機器を取り外してください。

アイコンが追加されていれば、本製品をお使いいただけます。ソフトウェアを利用する場合は、右記「メディアの書き込み方法」をご覧ください。

取り外し方

パソコンの電源が入っている状態で、本製品を取り外す場合は、以下の操作をおこなってください。

1 イジェクトボタンを押し、メディアを取り出す

2 USBケーブルをパソコンから取り外す

メディアの書き込み方法

弊社IOPortalサイトより「Roxio Secure Burn Enterprise 4」ソフトを無料でダウンロードし、ご利用ください。
（右記「「Roxio Secure Burn Enterprise 4」のダウンロード方法」参照）

「Roxio Secure Burn Enterprise 4」とは

- CD、DVD、BDメディアに、圧縮(WinZipエンジン)したデータの書き込み、ディスクの暗号化(AES 256bit)をおこなうことができます。
  暗号化をおこなったディスクは、他のPC（Windows7以降、Mac非対応）において、暗号化解除パスワードを入力することにより読みだすことができます。
- その他機能（ディスクのコピー /ディスクの消去/ディスクのコンテンツをイメージファイル(ISO、GI)に変換/イメージファイルをディスクに書き込む）

「Roxio Secure Burn Enterprise 4」の使用上のご注意

- 本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みをおこなうと、書き込みに失敗する場合があります。
- 製品のインストールには、インターネット接続環境が必要です。
- ヘルプファイルの参照には、Internet Explorer 6.0以降が必要です。
- 一度でも書き込みに失敗したBD-R、DVD+R、DVD-R、CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。なお、書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
- BD-RE、DVD+RW、DVD-RW、DVD-RAM、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みをおこなったライティングソフトウェアを使用してください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みをおこなう場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- 「Roxio Secure Burn Enterprise 4」が対応していないBD/DVD/CDドライブの場合は、書き込み先としてご利用いただくことができません。本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
- 音楽データを書き込んだCD-R、CD-RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R、CD-RWメディアに対応している必要があります。

「Roxio Secure Burn Enterprise 4」の使い方について

本紙では、ソフトウェアの注意事項や使用例を紹介しています。詳しい使い方については、ソフトウェアを起動し、ヘルプをご覧ください。

① ランチャー画面を右クリック



② [ヘルプ]をクリック

「Roxio Secure Burn Enterprise 4」のダウンロード方法

「Roxio Secure Burn Enterprise 4」ソフトは必要に応じてダウンロードし、ご利用ください。
以下の手順で弊社IOPortalサイトへユーザー登録したあと、ダウンロードします。

※ ダウンロードには、ブロードバンド接続環境が必要です。

1.IOPortalに本製品を登録する

1 ① Webブラウザーより **https://ioportal.iodata.jp/** にアクセス



② メールアドレスとパスワードを入力

③ [ログイン]をクリック

初めてご利用いただく場合は、新規会員登録をお願いします

① [新規会員登録へ]ボタンをクリック
② メールアドレスを入力し、[この内容で送信する]をクリック
⇒ 会員登録用URLのメールが届きます。
届いたメール内にあるURLをクリックし、会員登録をおこなってください。
会員登録後は、マイページにログインします。

2



① [登録製品]タブをクリック

② 本製品底面に記載のシリアル番号(S/N)を入力

③ [製品を登録する]をクリック

以上で本製品の登録は完了です。
次に下記「2.ソフトウェアをダウンロードする」へお進みください。

2.ソフトウェアをダウンロードする

1



① [登録製品]タブをクリック

② [登録製品の一覧]から本製品の[ダウンロード]ボタンをクリック

2



「Roxio Secure Burn Enterprise 4」のご利用のOSのボタンをクリック

3



[ダウンロード]ボタンをクリック

ソフトウェアがダウンロードされます。

4



表示された[プロダクトキー]をメモする

プロダクトキーはインストール時または初回起動時に必要です

プロダクトキーはインストール中またはソフトウェアの初回起動時に入力を求められます。プロダクトキーは以下のいずれかの方法で確認することができます。
- ソフトウェアをダウンロードすると送付されるメール
- 上記手順4の画面

※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号(S/N)とは異なります。

5 エクスプローラーなどからダウンロードしたファイルのある場所（ダウンロードフォルダー等）を開く

6 ダウンロードした"RoxioSecureBurnXXXXX(.exe)"ファイルをダブルクリックし、解凍する

（"X"には数字が入ります）

7 画面の指示にしたがってインストールする

※ 自動的にインストールが始まらない場合は、デスクトップ上に追加されたフォルダー→"RoxioSecureBurnXXXXX(.exe)"ファイルの順にダブルクリックします。
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[許可]をクリックします。

インストール中または初回起動時に、プロダクトキーの入力画面が表示された場合

上記手順4でメモした「プロダクトキー」を入力します。「プロダクトキー」はソフトウェアをダウンロードすると送付されるメールでも確認することができます。

※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号(S/N)とは異なります。

以上でインストールは完了です。

【使用例】暗号化したDVDを作ろう

以下はデータライティングソフト「Roxio Secure Burn Enterprise 4」を使い、暗号化したDVDを作成する手順例になります。
詳しい使い方については、「Roxio Secure Burn Enterprise 4」を起動し、ヘルプをご覧ください。

初回使用時に、ディスクを暗号化するためのデフォルトのパスワードの設定画面が表示されます

デフォルトのパスワードは、忘れないようにしてください。
※ パスワードは英字小文字1つ以上、英字大文字1つ以上、数字1つ以上、記号、または句読文字を1つ以上の組み合わせで、合計8文字以上で設定してください。

1 

デスクトップ上の[Roxio Secure Burn Enterprise]アイコンをクリック

2 

書き込み先メディアを挿入

3 

起動したランチャー画面に、書き込むファイルをドラッグ&ドロップする

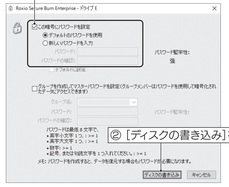
4 （ドライブが複数ある場合は本製品を選択）



[書き込む]をクリック

5 ① [この暗号にパスワードを設定]にチェックし、パスワードを選択する

デフォルトのパスワードを使用	「Roxio Secure Burn Enterprise 4」の初回使用時にデフォルトのパスワードに設定した場合に、そのパスワードを使用します。 ※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号(S/N)や、Roxio Secure Burn Enterprise 4のプロダクトキーとは異なります。
新しいパスワードを入力	新しいパスワードを入力し、使用します。 パスワードは英字小文字1つ以上、英字大文字1つ以上、数字1つ以上、記号、または句読文字を1つ以上の組み合わせで、合計8文字以上で設定してください。



② [ディスクの書き込み]をクリック

書き込みが完了するまで、しばらくお待ちください。

【使用例】暗号化したDVDを読み込もう

以下はデータライティングソフト「Roxio Secure Burn Enterprise 4」を使い、暗号化したDVDを開く手順例になります。
詳しい使い方については、「Roxio Secure Burn Enterprise 4」を起動し、ヘルプをご覧ください。

1 

暗号化したメディアを挿入

2 

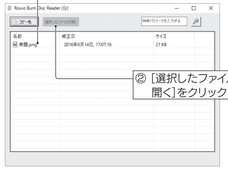
エクスプローラー等を開き、本製品のアイコンをダブルクリック

3 

① メディアに設定してあるパスワードを入力

※ 製品本体に貼りつけられているシリアル番号(S/N)や、Roxio Secure Burn Enterprise 4のプロダクトキーとは異なります。

② [OK]をクリック

4 

① 開きたいファイルを選択

② [選択したファイルを開く]をクリック

動作環境

最新の対応情報は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご覧ください。
(以下は、2016年11月現在の情報です)

対応機種※1	USB 3.0/USB 2.0ポート Standard Aコネクターを搭載したWindowsパソコン
メモリー※2	2GB以上
ハードディスク※2	150MB以上の空き容量
対応OS	Windows 10、Windows 8.1、Windows 7
対応メディア※3	●B　D-M・DISC、BD-R、BD-RE※4、BD-ROM ●DVD：DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM※4,※5、DVD-ROM ●C　D-CD-R、CD-RW、CD-ROM

※1　より詳しい対応機種情報を対応製品検索システム(PIO)にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2　上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によってはドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

※3　書き込みは、12cmメディアのみ対応しております。

※4　カートリッジタイプのメディアはお使いいただけません。

※5　・2.6GB/面のメディアには対応しておりません。
・2倍速以下のメディアは、読み込みのみ対応しております。

ハードウェア仕様

インターフェイス	USB 3.0/USB 2.0
設置条件	設置方向：水平、垂直
ディスクローディング方式	トレイタイプ
書き込みエラー回避機能	搭載
CPRM対応	○（読み込み/書き込み）
電源	AC100V 50/60Hz(ACアダプター)
動作温度	10～35℃
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	約158(W)×220(D)×50(H)mm (突起部分を除く)
添付品	取扱説明書（本書）、ACアダプター、電源コード、USBケーブル(A-B USB 3.0、約1m)

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

【リージョンコード】
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

【著作権】
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する予段としてのものです。もしもあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の規定ならび損害賠償を含む補償義務を負うことがありますし個自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

使用上のご注意

● 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。メディアに傷がついたり、故障の原因となります。



● 本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

● アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。データが消失したり、故障の原因になります。

● 一部のウイルス対策ソフトがインストールされていると、動作が不安定になる場合があります。

● メディアに保存した重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。

● レンズには触れないでください。
音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。

● 本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。

● メディアの取り扱いについて、以下をお守りください。
・メディアを直接持つときは光沢のある場所に触らず、両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。
・メディアに紙やシールなどを貼らないでください。
・ひびの入ったメディアや反ってしまったメディアは絶対に使用しないでください。また、割れたメディアをテープ類や接着剤で貼り合わせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるメディアは危険です。
・メディアに異物（メディアの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。

● 本製品につい汚れなどを落とす場合は、USBケーブルやACアダプターを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。変質したり、塗装をしたりするおそれがあります。
・市販のクリーニングキットは使わないでください。

データの長期保存には「M-DISC」への書き込みをおすすめします

「M-DISC」は耐熱、耐湿、耐光性に優れており長期間の記録保持ができます。弊社直販サイトでも販売中です。
http://www.ioplaza.jp/

● 本製品の機能である「DefectManagement for M-DISC」に対応した「M-DISC」をお使いいただくことで、より長期保存に適した商品質なアーカイブディスクを作製することができます。
「DefectManagement for M-DISC」は、三菱化学メディア（Verbatim）製の下記メディアのみ対応しております。
M-DISC（BD）(2層)、M-DISC（BD）(3層)

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死ことたは重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

	禁止
❗	指示を守る

⚠ 警告

本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。

ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、除電から浸み込み、発火・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や窒息との障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのままお使うと発火・感電の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常があると感じたら、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのままお使うと、発火・感電・故障の原因になります。

内部をのぞき込まない
内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。

電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがとおれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が損傷したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

アフターサービス

重要
●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきますただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(http://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

保証期間 3年間

お問い合わせ方法

ドライブ本体について困ったら

弊社サートページにて、**以下をご確認ください**

▼ **弊社サポートページ**
http://www.iodata.jp/support/

1 「Q&A よくあるご質問」を参照
2 **最新のソフトウェアをダウンロード**

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話▶ 050-3116-3020
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）
インターネット▶ http://www.iodata.jp/support/

※ご用意いただく情報▶製品情報（製品名、シリアル番号など）、PCや接続機器の情報（型番、OSなど）

「Roxio Secure Burn Enterprise 4」ソフトウェアの使い方で困ったら

以下をご確認ください

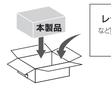
1 「Roxio Secure Burn Enterprise 4」を起動し、ヘルプを確認する
2 ホームページでサポート情報を見る
http://www.corel.jp/support/

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

コーレル株式会社 テクニカルサポート
電話▶ 0570-003-002
※受付時間　10:00～12:00 / 13:30～17:30
月～金曜日（土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く）
※お問い合わせの際にプロダクトキーが必要な場合があります。
プロダクトキーはソフトウェアをダウンロードすると送付されるメールか、IOPortalのマイページにて確認できます。
インターネット▶ http://www.corel.jp/support/
※上記URLに掲載されている専用のメールでフォームにお問い合わせください。

修理を依頼する場合

以下を**梱包し、修理センターへお送りください**



レシート、納品書など**購入日**を示すものまたは**保証書**

＋

メモ
・名前・住所・TEL/FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※返料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。
http://www.iodata.jp/support/after/

【ご注意】
1) 本製品及びその付属品は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物ですしたがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりませんこれら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた権利を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 著作権を侵害するデータを登信して行うテジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【ユーザー登録はこちら】…**https://ioportal.iodata.jp/**
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号（S/N）は本製品裏面のラベルに印字されている「2桁の英数字で9桁」です。(例：ABC123456789)

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

(キリトリ線)

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます）に同封した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます）の無料での修理または交換を約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載をふみます）以下同様です）等にしたがった正常な使用状態で記載された期間（以下「保証期間」といいます）内に、本製品に保証書を添えて弊社へ修理を依頼された場合には、弊社の判断により、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア（付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 保証書に記載された保証期間が経過した場合
2) 修理ご依頼の際に保証書をご提示いただけない場合。
3) 保証書に必要事項（お客様名、お買い上げ日、ご購入店等）が記入されていない場合または字句が書き換えられている場合
4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的要因による故障もしくは損傷の場合
5) お買い上げ後の輸送、移動時に発生の落下や衝撃等お取扱いが不適当なために生じた故障もしくは損傷の場合
6) 接続されたご使用における故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
8) 合理的使用方法に反するお取いまたは故障の維持・管理情報に起因する故障もしくは損傷の場合
9) 使用にともない消耗、摩耗、劣化が発生するため
10) 弊社が適合に適したと判断した場合
11) 保証期間が無期限の製品において、初回に購入した装置以外で使用された場合
12) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品をご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へ添えてご送付ください。本製品をお送りされる場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 保証書の提示がない場合、または保証書にご購入日の記載がない場合、もしくは、字句が書き換えられていると弊社が判断した場合には、保証期間の確認ができませんので、有償修理とさせていただきます。
3) 本製品がハードウェアのメモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合やお製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されますし弊社ではデータの内容については一切の保証をいたしかねますので、重要なデータについては必ず定期的にバックアップなど別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理のために交換を義務した場合に交付する製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて廃棄処分いたしますので、お客様へはお返ししません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの破損・消失等について、弊社はその責任を負いません。重要なデータについては、必ず定期的にバックアップを取るなどの措置を講じてください。
2) 本製品の故障、使用によって生じた代替品等の金銭的、時間的なご負担につきましては、一切の責任を負いません。
3) 本製品に関する情報および、本製品を使用することによって生じる、または使用により生じた損害（二次的な損害、付随的な損害、逸失利益、第三者からの請求に基づく損害賠償、その他金銭に関わる一切の間接的損害を含む）につきましても、弊社では、一切その責任を負いません。
4) 本製品に付属された製品やお買い上げ後に別途お買い求めいただいた弊社製オプション製品、および他社製の製品に関して、弊社は無償での保証は行なっておりません。各製品ごとに定められた保証規定をご参照ください。ただし、弊社製品に関して保証期間内に発生した故障については、弊社所定の方法で無償修理を行います。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でご使用によって、弊社はいかなる保証も行いません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.